

# 令和7年 第9回八雲町議会全員協議会会議録

令和7年10月9日 議員控室

## ○事 件

町長報告事項

- (1) 特定政策事業の進捗について（政策推進課）
- (2) 熊石サーモン種苗生産施設整備事業について（水産課）

## ○出席議員（14名）

議長	千 葉 隆 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	赤 井 睦 美 君		佐 藤 智 子 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	関 口 正 博 君		宮 本 雅 晴 君
	倉 地 清 子 君		三 澤 公 雄 君
	牧 野 仁 君		安 藤 辰 行 君
	斎 藤 實 君		能登谷 正 人 君

## ○欠席議員（0名）

## ○出席説明員（7名）

町長	岩 村 克 詔 君	副町長	成 田 耕 治 君
政策推進課長	川 口 拓 也 君	政策推進課長補佐	宮 下 洋 平 君
水産課長	吉 田 一 久 君	水産課長補佐	多 田 玲央奈 君
財務課長	川 崎 芳 則 君		

## ○出席事務局職員

事務局長	野 口 義 人 君	事務局次長	藤 原 悟 史 君
庶務係長	千 代 貴 大 君		

[開会 午前 9時54分]

### ◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） それでは、若干定刻より早いですけれども、皆さん大変お忙しいようがございますので、時間を若干早めて、ただいまから令和7年第9回全員協議会を開催したいと思います。

議長挨拶ですけれども、それぞれ今回最後の会議になりますので、議事進行にご協力をお願いして、ご挨拶いたします。

### ◎ 報告事項

○議長（千葉 隆君） それでは、報告事項（1）特定政策事業の進捗について、政策推進課の報告でございますが。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） おはようございます。議員の皆さんは大変お忙しい中、もうここに座っているのも大変な状況でないかとお察ししますけれども、私はだんだん身も心も軽くなって、変なことを言う可能性がありますのでちょっと慎みながら、最後の全員協議会を進めてまいりたいと思います。

今日は私の政策で、特に議会の中でも説明いたしました、民設民営でやるということを説明して、議員の皆さんからご理解をいただきたいという思いがありますので、よろしく願いいたします。

それでは、座って説明をさせていただきます。

最初にウイスキーの事業でありますけれども、もっと早く動く予定でありましたけれども、経産省の補助金が9月に採択ということになりました。私は当初から、経済産業省の補助金はかなり難しいと思っていました。ただ、向こう方のほうが特に東京の会社のほうから、これがいいだろうってということで進まれていましたけど、私は難しいということで、もう一方、地方創生を動いていました。

この地方創生が去年間に合いませんでしたので、今年の12月に申請ということで、もう3回ぐらい東京に行きながら説明して、おおもといけるんじゃないかということで今整理しているところがありますので、12月に申請をして、来年の4月から5月の春にはゴーサインが来る予定で今進めています。町のかかる費用とかは全部同じで、ただ半年ちょっと遅れて進んでいるということでご理解をいただきたいと思います。

また、我々はウイスキー事業にありますけれども、先般、千島列島の津波の避難の時に、ハーベスターに山越の方々が複数避難したそうであります。その時に、デルソーレの代表が受け入れるということになって受け入れたそうで、我々もあそこにウイスキーとハーベスターがありますので、本当は道立公園がいいんだろうけども、なかなか道立公園のところって難しいところがあるので、民間企業の場合は社長がいいって言ったらオッケーなんで、あそこを避難させていくように考えていこう、ということである程度固まりました。

ただ、デルソーレの社長さんからは、あそこにある食材は避難したときは提供するということと、年に一回ぐらい地域の方々と避難訓練。あそこは特に、高速道路がありますので、高速道路が津波

にあわないとあそこに避難できるということもありますので、その辺を含めて、これからウイスキー事業と一緒にやるということで了解をもらってますので、議員の人たちにもご理解をしていただければと思います。

私は、あそこに逃げたらチキンだとかピザだとか、いろんなものを食べるなあと思いながらいますけれども、ウイスキー事業はそういう状況で進んでいるということで、説明を終わります。

何か質問があれば、よろしくお願いします。

○議長（千葉 隆君） それでは今、特定政策事業のウイスキー部門について、町長よりご説明がございました。民設民営に今後、方針転換をしながら運営するという確認をしていきたいと思いますが、皆さんの方からご意見質問ございましたら、受けてまいりたいと思います。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保議員。

○議員（大久保健一君） 民設民営は、すごくいいことだと思っております。

直接そのことではないんですけど、資本構成メンバーをいつ公表していいかっていうのは、まだ聞いてなかったの、いつぐらいになるんでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 実質、正式な公表というのは、多分国の交付金が内示、また、決定したときだと思いますので、来年の春ということを考えていますが、試行式には私はベラベラ喋ってますから、特に22日過ぎると民間になるのでしゃべっていますけれども、正式にはそういう時期ということで、ご理解をいただきたいと思います。

○議員（大久保健一君） 来春ってということ。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） 他に。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） 先ほど、町の企業は同じだけどっていうのをお聞きしましたけれども、避難の場所と一緒に合わせていくっていう方向の費用というのは、どのようになるんでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 今のところスペースを確保したりとか、下手したら食料を大きく少し備蓄したほうがいいなという話もあるんで、別に町でなくて国の何か補助金がある程度いければ会社で出すとか、今いろんなことを考えながら、その時にまた関節補助で、また町にお願いすることもあるかもしれませんが、今のところ大きくお金が発生するということは考えてなくて、今のある施設を元々直すということは決まっていますので、直して受け入れることにしていこうと思っています。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） ということは場合によっては、もしかしたら町の持ち出しになるかもしれないということは含まれているということですね。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 今のところ、町の持ち出しっていうよりは、防災のほうのことを国とかにお願いをして、この補助もそうだけど間接補助でありますので、町経営で補助ということになるんで、そこに町の補助を足せということは今考えていないということでご理解をいただきたいと思います。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 今ウイスキーの話から始まって、山越地区の新しい避難所の話になりました。他の地区でもそういった声とか、避難先への建物の屋根がないとかいろいろなものがありますけど、同時に進めていくということですか。それとも、山越だけポンと進めるというイメージでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 山越だけっていうのは、たまたま今のハーベスターが逃げてきたということと、我々はあそこでウイスキー事業をやるんで、町も絡んでいる事業なんで、あの辺の地域の人たちを●●てたほうがいいだろうということやってます。

ただ、各地域で今回も避難した時に建物がないとか、食料がないとかいろいろあるんで、これから次の議会や、次の町長さんと色々議論しながら、施設をつくるなり、民間の施設を借りるということに協議が始まるものと思います。今我々としてウイスキーの事業としては、山越の地域でということ、ご理解いただきたいと思います。

○議員（三澤公雄君） わかりました。

○議長（千葉 隆君） 他に。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 経済産業省の補助金がボケになって、それがどれくらいかわからないんですけど。それと、地方創生って全く別なあれだから、両方いただくということはできるものなんですか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 補助金は、一応両方というのはダメなんです。ただ今、経済産業省がちょっとダメになったと。不採択ということになりましたので、今まで地方創生で話し合いをしているということでもありますので、来年の4月、5月には地方創生の内閣府からゴーサインが来るという予定で進んでいるとご理解いただきたいと思います。

○議員（赤井睦美君） ごめんなさい。

○議長（千葉 隆君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） それはもう確定ではないですよ。一応、予定ですよ。

○町長（岩村克詔君） もちろん。

○議員（牧野 仁君） 予定。

○議員（赤井睦美君） もし、来ない場合も考えられるということですよ。

○町長（岩村克詔君） 赤井議員おっしゃったとおりですね、来ない場合はこれ以上、町にはお金をくれとかいうことはもう言わないということで今話し合っていますので、赤井議員さんからもよく言われているとおりです。

組んでる会社はまあまあ大きい会社なんで、今のところ私としては、あんたたちが出すのが普通だべという話はしていますので、それは十分考えるということで、今はそういう状況でこれより町にはお金を出してくれとか、いろんなことでお金はいきません。

ただいろんな場面で、お金じゃない部分の協力をお願いしますと思いますけれども、お金はないということでご理解いただきたいと思います。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 土地を買うっていう話があったと思うんですけども、それはどうなってますか。

○政策推進課長（川口拓也君） 議長、政策推進課長。

○議長（千葉 隆君） 政策推進課長。

○政策推進課長（川口拓也君） 土地の購入は、新会社が直接土地を購入するという方向で動いてまして、現状すでにこの現地では、測量業務には入っております。あくまで土地の購入は、会社側がするというのでございます。

○議員（佐藤智子君） じゃあ、町は。

○町長（岩村克詔君） これと、町は関係ないから。

○議員（佐藤智子君） はい。

○副議長（黒島竹満君） はい。

○議長（千葉 隆君） 副議長。

○副議長（黒島竹満君） 先ほど山越の町民が避難したというのだけでも、何名くらい避難したの。

山越のほうはさ、町内会で全部小学校に9割がた逃げたから。100%くらい。だから、山越じゃないんじゃないか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 失礼いたしました。山越って言ってるのは、ハーベスターと言ってるけど、副議長さんおっしゃるとおり、浜松ってことも考えられます。私も山越の人か浜松の人かっていうのは把握してませんが、デルソーレさんからは山越って言ってたけど、浜松かもしれません。すいません。その辺はご理解していただきたいと思います。

○副議長（黒島竹満君） はい。

○議長（千葉 隆君） 副議長。

○副議長（黒島竹満君） 町内会で一生懸命やってるわけだから、だから、結局山越ってなって、山越の人たちがあそこに避難したとなれば、町内会が何も動かなかったっていう意味にもとられるから、そういう部分は気付けてね、ものを言ってもらわないと。

町内会の役員が回って、全部車で小学校まで集めてるから、そういう人たちが動いてきて、そうやって言われればさ、そういうことはやっぱり気をつけて言ってもらわないと。そういうことです。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 特になければこれで。改選後そのような方向で皆さん戻ってきていただいて、力強く推進してください。よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） では、（２）熊石サーモン種苗生産施設整備事業についてを報告事項として協議していきたいと思います。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） このサーモン事業は当初、公設民営でやるということで説明をしていましたけれども、先般議会の中でも私は民設民営であると。議員の皆さんからいろいろとサーモン事業に対しては、公設民営をいろんなことでどうなんだって意見もありました。

さらに、なんといってもなぜ公設から民設にしたかということ、一番大きいことは、当初３年ぐらい前に８億円ということでみてきましたけど、これがどうも今ここに来て、●●が倍という話はちょっと大げさですけど、そのぐらいの費用がかかるんじゃないかということもありながら、これは財政ともやりましたけれども、過疎債がまくっているのがありますので、そんなの難しいし、我々これから庁舎等ともありますので、ちょっと難しいなということがありました。

そしたら民設でやろうということで考えまして、今の一番出資経営してくれる会社と再度打ち合わせをしながら、今のところ、この施設の建設は民設でいくと。

ただし、先ほど言った地方創生の補助金を国からいただいて、今のところ総事業費で、多分新しい方法は当初８億が倍ぐらいなんじゃないかということもあるし、古いほうもありますので、古いほうを改築すると下手したら１８億程度という可能性があるということで今想定しています。

ただ今言った、町としたらこれ以上お金出せないということで民設にすると。それで民設するお金は、地方創生の今のところ来年の５月か６月の申請に向かっていると。それで費用については、国が３億、町が３億ということで、６億円が補助を入れると。

この６億円の補助は、これからサーモンの施設が上がり下がりこれは変えないということで向こうの社長とも話をしています。さらに、今町で持っている施設、古い施設を北海道から買った施設とこれから新しく増設する土地は、新しい会社を買っていただくということで今話し合いが進んでいます。

資本金については来年確定しますけれども、前は町がいっぱい出そうという気がありましたけれども、檜山漁協と八雲町で１００万ずつということで、だいたい檜山漁協とも話し合いしながら、檜山漁協については、種苗を瀬棚から全部入れるということもあると、一応ちゃんと資本金を１００万でも出したいということで、町も多く出すことはないだろうということで、檜山漁協とも話をいたしまして１００万程度ということで、来年の春に会社設立に向かって今準備をしているということで、ご理解をいただきたいと思います。以上であります。

○議長（千葉 隆君） それでは、熊石サーモン種苗生産施設整備事業について、皆さんの方からご意見質問ありませんか。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 水利権の問題は、解決しそうなんですか。

○水産課長（吉田一久君） 議長、水産課長。

○議長（千葉 隆君） 水産課長。

○水産課長（吉田一久君） 今年なんですけど、皆さんご存知のように水利権の取得に向けまして、見市川の流量検証調査業務のほうを昨年から1年間続けてやりました。

その結果をもとに、見市川に生息する魚類の生息に必要な水量、維持水量というんですけれども、維持流量を確保した上で、どの程度まで水の方を引っ張れるかっていう部分を検証しまして、おおよそ検管さんのほうとも、その辺の考え方の整理については終わっております。

それで、現在実施設計の方を発注してございまして、あわせて水利権の申請書の作成業務も行ってもらうことになってございまして、現在、施設の設計に向けて、この程度の水利を活用して、こういった施設にするっていう部分を今まさにテクニカルの部分をいろいろと協議しながら進めているところであります。

順調にいけば、来年の3月末には実施設計も完了し、水利権の申請ができるまでの段取りになる予定でございます。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） 申請ができるのが来年の3月っていうことは、その答えが来るっていうのはいつ頃なんですか。

○水産課長（吉田一久君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 水産課長。

○水産課長（吉田一久君） 仮に3月末に申請しましたとして、おおよそ処理まで2か月から3ヶ月というふうなことを聞いております。申請して、それからすぐ審査ということではなくて、申請するに至るまでの間、水利権の申請書の作成と合わせて、同時に今の施設の実施設計を進めます。

なので、実施設計しながら建設管理部と水利権の取得に向けた協議を進めた上で、ある程度施設を水利権の水利に見合った規模で、この施設があって設定したい水利権ということを事前に検管さん、要は許可権者の方と調整しながら進めていきますので、その申請するまでの段階が整ったという時点では、おおよそ前段の協議は終わっているという形になりますから、そんな遅くない時期に許可が下りるものはこちらは考えております。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 他に。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（千葉 隆君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 今の佐藤議員の水利権の問題もそうですけど、サケマスふ化場であるという、この水利権も含めてやっぱりとてつもない財産なんですよ。これは本当に種苗の技術もさることながら、このような施設を今新規でなんて取ることができるようなものじゃない。

だから、とんでもない熊石にとっても、八雲町にとっても大きな財産ですので、民設民営でいくっていうのは会社としてはいいでしょうけれども、なんとか地域にしっかりと利益を生むような何かものがあるのもいいのかなって思うんですよ。

これが、このまま民設の民のほうのすべて手柄になってしまうのであれば、これもまたちょっと寂しいなあ。すごい苦勞しているいろんなことをこれから水利権にしても、取得していくんでしょから、産業としてしっかり根付いていくようなあり方というものを改めてしっかり考えていただきたいな。すべてを波に任せられるものではなくて。ちゃんと熊石に活かされるような、八雲に活かされるようなかたちになってもらいたいと思いますけど、どうでしょう。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 熊石、地に足をつけて、地域で養魚センターというのは儲けるものじゃないので、これについては大変各地域から用務の要請というのは、先般も函館のほうからもありまして、函館市からも大変期待されているということでもありますので、これは熊石にとってもこの地域にとっても、大変重要な施設になります。

これはあくまでも、熊石の地域に根差した会社ということでもありますので、先般までのどっちかという、公設民営であればどっちかといったら企業誘致っていう、ちょっと薄かったんでありますけど、今回は民設民営であれば、企業誘致に少し近くなるようなことを思っています。

そして、先ほど言っているとおり、金額がどう上がろうと民間会社がお金を出すということで、向こうの会社もそういう行程となっています。ここで今話しているのかどうかはわかりませんが、関口議員がおっしゃっているとおり、この水利権取る問題というのは、これからも大変なところで熊石にしたって、もう一か所ぐらいあるのでないかと当初考えたところもありますので、熊石にとっては、もしできればそういうことも考えられる。

そんな熊石にとっても、養魚のセンターができるということは、次々根ざしていきながら工業や産業を生んでいく。次には加工も進められる、そんな状況になるということで、ご理解いただきたいと思います。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（千葉 隆君） 関口議員。

○議員（関口正博君） この相手方の会社というのは、非常に調子がいいという部分もあろうかと思えます。

そして、何よりもそれだけの思いでこの施設を欲しいっていうのは、それだけの価値があるということでもあると思うので、それはやっぱり我々もしっかり把握した上で、これからのいろんな交渉事っていうのが進んでいくことを本当に願っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 他に。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） 町民の声をちょっと聞いてきたので、それらを町長に伝えたいなと思ってるんですけども、民設民営になるのはやっぱりいいんですけど、町長はこれから退任されて、民間になられますけれども、民設民営になった会社の役員になったりとか、そういう予定っていうのはあるんでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 何何。

○議員（倉地清子君） 役員。

○町長（岩村克詔君） 誰の。

○議員（倉地清子君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 今のところ、そういう話し合いはしてませんが。ただ、手伝ってくれという話がありますので、これもまだ立ち上がってませんので、そのへんの話はこれからの話になると思います。

ただ、先ほど関口議員もおっしゃっているとおり、私もずっと絡んできてきましたので、その辺については、少しは手伝ってみたいという気持ちもありますけれども、確定はしてないということでご理解をいただきたいと思います。

○議員（倉地清子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 倉地議員。

○議員（倉地清子君） そうであれば、今は分からないけれど、お手伝いすることもあるかもしれないということで、もし仮に役員になったとするならば、町税、血税を使って建てて結構お金を使っているから、要は町長が民間になったときの報酬の半分とかって還元とかあるんでしょうねっていうのをそのままストレートに言ってしまったら言い方は悪いけれど、そういう感情が町民にはあるということを伝えさせていただきます。

○議長（千葉 隆君） ちょっとそれは、不適切な発言だと思うんで。

○議員（倉地清子君） すいません。

○議長（千葉 隆君） 想像で今お話ししていることと、今町長の代弁するわけじゃないけれども、お手伝いっていうのは好意で、そういうボランティア的な部分でお手伝いするんだっていうふうに私は受けましたので、そういう感じで今の段階かなと思うんですよ。

そういうことも含めて、町長のほうであれば受けたいと思います。

○町長（岩村克詔君） 今のところ会社が起きていませんし、まだ確定もしてませんので、先ほど言ったとおり、どういう絡み方をするかというのも決まっていませんので、ただ想像するのはね、いろいろ想像しますけれども。

ただ、絡んでいきたいというのは私もやった以上、結局これだって民設民営にするかということとは、町にこれ以上迷惑をかけられないということと、民間でないと経営もうまくいかないということもありますので、そういうことでご理解をいただきたいと思います。

まだまだ確定したものはないと。ただ手伝いたいという思いはしてるということで、ご理解いただきたいと思います。

○議員（倉地清子君） いいですか。

○議長（千葉 隆君） はい、どうぞ。

○議員（倉地清子君） 不適切な発言を失礼いたしました。

○町長（岩村克詔君） いえいえ。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 民設民営になるまでに、町からも結構お金が出てるんですけど、なんかサーモンって熊石地域にいると見えるのかもしれないんですけど、私は食べれないから買いません

が、全然地元で買えない、食べれない。今サーモンフェアやってますけどね。そういうのはどうしてって。

今までは税金使ってやってきてたから、町民が買えるっていう、そういう時があってもいいんじゃないという声もあるんですね。民設民営になった場合、より多く儲けようとする、当然ですけど、大きな企業にどんどん売ることになって、それが町民にちゃんと還元してもらえるのかなっていうのが一つと。

それから、民営になっちゃったから、今後は固定資産税とかあと何が入るのかよくわからないですけど、戻ってくるんでしょっていうのは期待してるんですけども。町民に対して還元してもらえるかどうかというのは、やっぱり食べたいという人にとってはすごく大事だと思うので、年に一回のフェアとかだけじゃなくて、ここに行ったら買えますよみたいなのがあってもいいんじゃないかと思うんですけど、そのへんはどうなんでしょう。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 赤井議員さんおっしゃるとおり、民設になりますので、固定資産税だとか、雇用だとかいろんなもので町には還元していきます。

このサーモン事業を分けてほしいのは、今のやつは種苗センターであくまでも一般消費者が食べれる状態ではないということをご理解いただきたい。それで、一般消費者が食べれる状態というのは、あくまでも漁業者がやってる、檜山漁協が絡んでいる。

そこで成魚にして売る状態にして、売っているということがありますので、今は高井さんたちが合同会社をつくって、あそこで管理しながら、檜山漁協の熊石支所が売ってるということで、町は売りに関してのどこに売れとか、あっちに売れということは今のところ指示もしてません。

町のサーモンフェアだとかいろんな部分は、我々も今まで支援してきたのでお願いしますということを行っています。ただ、町内の業者で欲しいという方がいると、確かに合同会社の社長さんは売ってもいいということは言ってますので、そういう声があるのであれば、我々としてはやっている方々、また檜山漁協さんのほうにお話はできるということで、ご理解いただきたいと思います。

○水産課長（吉田一久君） 補足してよろしいですか。

○議長（千葉 隆君） 水産課長。

○水産課長（吉田一久君） サーモンの町内での販売ということでございますが、先ほど町長が申しましたとおり、我々の手元に届くのは、海面養殖終了後の魚になりますので、先ほどの種苗の部分と合わせて切り離してもらいたいというのが一つ。

それと、このサーモン養殖の取り組みにつきましては、令和元年度から始めまして、その都度、試験販売的に町内での水揚げ時の販売も、これは継続して行っているところでございますし、独り立ちしました合同会社につきましては、町民販売は継続してやっていきたいということを申ししています。

また、毎年学校給食の食材として提供するというのも、これからやっていくということも言っております。それと取引の部分は、地元の水産加工業者さんが熊石で作ったサーモンを取引されているんですけども長谷川水産さんの方でも買うこともできますし、また、地元熊石のかきた寿司さんは、自分で大きい冷凍庫を買って、毎年漁協さんから大量に仕入れて、通年通して提供しているというような状況もございます。

また、新たに今年、おぼこ荘さんの方も購入したいというお話がありまして、合同会社の方に伝えまして、おぼこ荘さんの方にも卸しているように聞いてございます。

合わせて、今のサーモンのPRも含めまして、今現在サーモンフェアということでやっております。今回ラジオ等でも宣伝しながら、今進めているところでございますので、よろしく願います。

○議員（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井議員。

○議員（赤井睦美君） 今そうやって聞くとそうなんだって思うんだけど、そういう情報が町民に伝わってこないですね。だから、もうちょっとわかりやすく、気軽に買えるにはこういう方法がありますよ、ここ行けばいいですよ、みたいなことをどこかでサーモンフェアとともにPRしてもいいのかなと思うし、種苗と●●は別だというのはわかってるんですけど。

種苗を町がやっている時は、成魚になったところまでも町としても意見言えるかなと思ったけど、全部が民間になってしまったら、もう何も言えないんじゃないかと思ったんですけども、その辺は、これからも町としては、お願いはできるっていうことでよろしいですね。

○水産課長（吉田一久君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 水産課長。

○水産課長（吉田一久君） 成魚を作っております、合同会社二海サーモンのほうなんですけれども、こちらのほうは、これまで通りサーモンのPR等いろんなそういった販売活動についても、我々と連携するところは連携しながら進めていくというかたちをとってございますし、これまでの経過も踏まえまして、町の見解も十分聞いていただけるような間柄にありますので、そのへんは大丈夫だと思います。

○議長（千葉 隆君） 他に、よろしいですか。

●●、今この事業も大切な事業ですので、皆さんよろしいですか。いいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それでは、報告事項2個ありますけれども、今どちらも特定政策事業で、未来の八雲町にとっては大変重要な2つの事業であります。

町長のほうから、町の関係、補助の関係、出資資金の関係含めて、最小の経費で最大の効果を上げるべく方針を示されましたので、改選された議員の皆さんは、この最大の効果を上げるために、議員の皆さんもしっかり責務を果たしていただくよう、私からもお願いして、逆にPRも含めて、町民の皆さんにしっかりPRして、盛り上げていただくことをお願いしたいと思います。

それでは、報告事項につきましてはこれで終わらせていただきたいと思います。

○町長（岩村克詔君） すみません、もう一点。

○議長（千葉 隆君） もう一点あるんですか。町長。

○町長（岩村克詔君） もう一点だけです。

これは、まだまだあと3年後、4年後の話でありますけど、ワイナリーについても、元々公設でやるということで皆さんに説明いたしましたけど、今ワイナリーのこれからやる人方と話をして、やはりこれも民設民営の方がいいだろうということを話しています。

ワイナリーできるのは4年後でありますので、もうちょっと時間がありますので、議会だとかその時に議論しながら進めると思いますが、今のところ農業の補助金が1/2と。1/2を民間でやる

新しい会社をつくって、そこで借り入れするなり、やるということにしますとなっておりますけど、ワインやる人たちも力がないんで、その当時の議会なりに説明をして、1/2の1/2ぐらいは補助欲しいなということは今話していて、それは決定してませんが、そういう思いがありながら、民設民営でやるということも、ワイナリーもそういうふうに進んでいるということでご理解だけいただければと思います。

○議長（千葉 隆君） それでは、今追加項目でワインの方向性もある程度、今すぐそのことが実施されるということではないということも含めて、皆さんのほうからご意見ありましたら承りたいと思います。

○議員（佐藤智子君） はい。

○議長（千葉 隆君） 佐藤議員。

○議員（佐藤智子君） まだ全然これからなんであれなんですけど、ワイナリーの場所はここがいないとかっていうのはあるんですか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） あくまでもワイナリーを作るのは、今のブドウを植えている前側に作るということで、ブドウを植えた目の前にワイナリーがあるというのはなかなか珍しい。

また、すごく交通もいい場所にあると。ウイスキーもそうでありますけど、観光にもちょうど使えるような、そんなことを想定しながら今計画を進めているということで、ご理解いただきたいと思います。

○議長（千葉 隆君） ●●に行った時に積んですぐ絞るっていうのは、一番の原則だというふうには、農議連で行った学習してましたので、そういうパターンでやるみたいですね。

○議員（牧野 仁君） 岩越電機の裏あたり。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○議員（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤議員。

○議員（三澤公雄君） 今、ブドウが町有地に混ざってますよね。あの土地も含めて民設だから、購入という形で考えてるんですよね。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 三澤議員おっしゃっているとおりで民設民営でありますので、今の土地も買っていただくと。さらに、苗は町で出していますので計算をしながら、減価償却等いろんなブドウの値段もありますので買っていただくということで今話し合いをしています。

○議員（三澤公雄君） はい。わかりました。

○議長（千葉 隆君） まあ、こまい事をいう前にこれからの部分だということで、どうでしょうか。いいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それじゃあ、ワインのほうもということで。

皆さん、質疑終了してよろしいですか。

○議員（大久保建一君） その他で聞きたいことあるんですけど、いいですか。

まったくその他だけどいいですか。

○議長（千葉 隆君） じゃあ、ちょっと待って。

まずは、ワインの部分はこれで終わらせていただきます。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） はい。その他で皆さん。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保議員。

○議員（大久保健一君） せっかくいらっしゃるんで、今ちょっとクマ。クマがすごくて、今日ちようど農林課が来てないんですけど、泊川とかも目の前に来て、全国的に今人身事故がすごく起きて、町でなんか新たな対策っていうか、町長の方から指示が出てるのか。

かなり町民からは、クマに対する恐怖心というかすごくて、あれだけ民家のそばだともういつ人身事故が起きてもおかしくない状態なので、その辺を今、町の動向はどうなのか。どういう対策しているのか。

あと、情報共有という意味でも、我々どっちかというと新聞報道から知っているだけなので、もうちょっとみんなで町民の情報を共有した方がかえって恐怖心が和らぐのかなと思うんですけど、その辺どうなんでしょう。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 確かに大久保議員おっしゃっているとおり、我々も本当にクマの出没するのが多すぎて対応できてないというのが現状です。我々にしても、熊石に出てきてもなんとか熊石の猟友会の人と熊石の担当者が行くというようなことで、その前に何か対応できるかといったら、こっちはこっちで落部であちこち出ますので、農林課の担当者も今、本当にもう朝早くから対応していますが、大変指示するとしても大変難しい状況にあって、今北海道のほうに専門のチームを作った方がいいということで、今要請活動はしてますけど、なかなかそれも進んでないという状況です。

しかしながら、大久保議員さんがおっしゃっているとおり、明日にも、これは災害と一緒に、今日でなくてもクマが出てくるという状況でありますので、職員の数も増やしたいということも考えながらいますが、なかなかそこに至ってないということをご理解をいただきたいと思います。

○議員（大久保健一君） はい。

○議長（千葉 隆君） 大久保議員。

○議員（大久保健一君） なんかネットなんかを見れば、クマを追い払うようなロボットがあったりだとかなんだとかって、もうお金には代えられないような感じになってきているんで音を流すだとか。

例えば、野犬のおしっこに近い成分のにおい出してやるだとか。なんかかんかの頻繁に出ている地域、泊川のところありますよね。ああいうとこって、なんかやんなきゃダメなんじゃないかなと思うんで、なんか考えて。それで効果は万全とは思わないけど、なんかかんかしなきゃならないと思うんで、指示ができるならしていただきたいと思います。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 指示できるかといったら、全く指示は難しいって思っています。だから、考えているのはそういうものもあるけど、やはり出沒するところには、なんか山から電牧でもきちんとやって、それからこっちにクマが来ないようにするのが一番いいんじゃないかというのは思っていますが、ただこれを設置したりとか、設置するのはいいんですがメンテナンスもかかりますので、その後費用もどのくらいかかるか。

また、町単独でやるというのは、お金もかかるんで、やっぱり北海道は補助金も考えながらした方がいいのかなというところで、いろいろ今考えているということで、なかなかこれといった特効薬が。八雲町ばかりじゃなくて、この間渡島の人たちに、明日も集まりますけど。

その中でもなかなか、どこの町もみんなが大変になっているということを理解しながら、皆さんと意見交換しながら対応していかなきゃならないということでもありますので、よろしくお願い致します。

○議長（千葉 隆君） ●●で牧野議員さんも出席してましたけども、鳥獣有害駆除協力会の関係で、熊石に私も牧野議員さんも行ってまして、町の方からの発表はないんですけども実態としては、もう八雲町地区で51頭、熊石地域でも16頭の駆除をしています。

つまりは、60頭ぐらいの駆除をしてるんですね。ただ、その部分を公式に発表する部分が、ちょっといろいろと課題があるということも理解していただきたい。この数は、他の町村から見ると、何倍もの駆除をしているという実態だから、結局かなり今猟友会の人たちの活動が他の地域の3倍、4倍活動してますよと。八雲の場合ね。

そして、その部分は担当課の人も夜明け前から出て、そして、役場に出勤している状態が毎日続いているような実態があるんで、なかなかこれ以上の実動、あるいは猟友会の出動の部分も限度があるし、あるいは会社に勤めながらも協力してもらっている人も大半いるんで、そういうことからすると、もう限度以上のことを今猟友会の方、メンバーも含めて稼働しているという報告は、この間牧野さんと私は受けてきました。そのことだけは、ちょっと皆さんにも、公務で行ってますので、知ってほしいなというふうに思っています。

ちなみに、上ノ国町でも報道があったけれども、あんなに多い地域でも、クマがいっぱいいる地域でも、その当時10頭ぐらいしか獲ってないから。それを含めていけば、6倍になっているから。そのくらい八雲地区の猟友会の人たち、あるいは担当の人たちはすごいことの中でやってますよっていうことも我々理解していかないと。これ以上、町長さんが言うように即効性のある部分は難しいということ。

それと、八雲地区の場合はデントコーンがあるから、そこにはもう危険で入っていけないんです。春先に駆除するのであれば、行けるけれども。逆にそここのところで遭遇したら、自分の身が危険になるんでそういったことの状況。秋に駆除するという危険性と命の危うさという。それを相互の中で今やってて、一回一回。1人で20頭を獲っている人もいて、毎日獲ったら今度は下ろしてこなきゃならないから。

だから寝ないでやっているような、猟友会のメンバーもいるんですよっていうこともお話ししてたんで、深々と頭を下げて、体力が続く限りお願いしますよ。というお願いはしてきました。議会の皆さんの代表として。そういうこともわかってほしいなと思うんで、お願いします。

そうですね、なんか牧野さんのほうから。同じですよ。

○議員（牧野 仁君） はい。

○議長（千葉 隆君） 他にこの件についてあれば、いいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それじゃあ、町長報告のほうはこれで終了しますけれども。

長い間、町長、本当にありがとうございました。

○町長（岩村克詔君） ありがとうございました。最後だね。もう来ないから。

○議員（大久保健一君） いや、もう問題を起こせばまだあるかもわからない。

○町長（岩村克詔君） ああ、そうですか。

○議長（千葉 隆君） それでは、その他。事務局のほうから、何かありますか。

○議会事務局長（野口義人君） ないです。

○議長（千葉 隆君） 皆さんの方からございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） なければ、これで令和7年第9回全員協議会を終了します。

皆さん、ご苦労様でした。今後とも、よろしくお願ひ致します。

[閉会 午前 10時41分]